

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム たけひさ作成日: 令和 5 年 4 月 7 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	災害対策	職員が少ない夜間想定 of 訓練に力を入れて取り組み、夜勤者が1人で利用者全員を避難誘導できるよう繰り返し訓練を行っていく。	夜間想定に加え、地震や台風を想定した備えや避難方法について職員全員で確認する機会を設けていく。また、近くに住む職員が駆けつける体制や近隣住民との協力体制の確認も定期的に行っていく。	12ヶ月
2	5	運営推進会議を活かした取り組み	コロナ禍で書面での報告が続いているが、コロナ収束後に向けて、参加委員の増員と内容の充実に向けて取り組んでいく。	会議の中でミニ勉強会を行ったり、地域の課題の解決に向けて話し合う等、ホームと地域、双方の発展に繋がる会議を目指していく。また、書面開催の場合は、電話やメールで委員の意見や感想を集め、議事録に記載して報告のみで終わらないよう工夫していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。